

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **09286195 A**

(43) Date of publication of application: **04 . 11 . 97**

(51) Int. Cl

B42F 21/04
G09F 3/10

(21) Application number: **08100734**

(71) Applicant: **KOKUYO CO LTD**

(22) Date of filing: **23 . 04 . 96**

(72) Inventor: **MINAMI KAZUO**

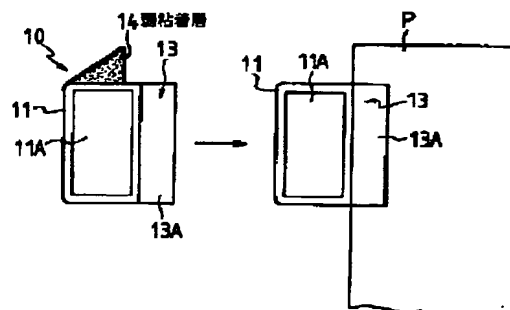
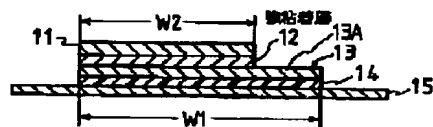
(54) **INDEX LABEL**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily perform sticking and resticking of an index label.

SOLUTION: This index label is provided with an indication leaf 11 equipping an indication region 11A in which a header character or the like is written, a transparent resin film layer 13 laminated on the back side of the indication leaf 11 through a strong adhesive layer 12, a weak adhesive layer 14 provided in the back of the film layer 13 and a release sheet 15 covering the weak adhesive layer 14. One side of the film layer 13 is extended longer than the edge of the indication leaf 11 and a sticking face 13A is formed. The sticking face 13A is stuck to the edge of space P.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-286195

(43) 公開日 平成9年(1997)11月4日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 2 F 21/04			B 4 2 F 21/04	A
G 0 9 F 3/10			G 0 9 F 3/10	A

審査請求 有 請求項の数 3 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平8-100734

(22) 出願日 平成8年(1996)4月23日

(71) 出願人 000001351

コクヨ株式会社

大阪府大阪市東成区大今里南6丁目1番1号

(72) 発明者 南 和夫

大阪市東成区大今里南6丁目1番1号 コクヨ株式会社内

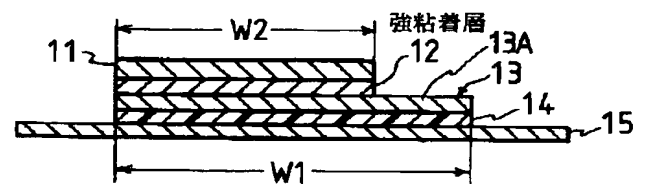
(74) 代理人 弁理士 山口 義雄

(54) 【発明の名称】 インデックスラベル

(57) 【要約】

【課題】 容易なる貼り付けと貼り直しができるようにすること。

【解決手段】 見出し文字等が記入される表示領域11Aを備えた表示片11と、この表示片11の裏面側に強粘着層12を介して積層された透明な樹脂フィルム層13と、このフィルム層13の裏面に設けられた弱粘着層14と、この弱粘着層14をカバーする剥離シート15とを備える。フィルム層13の一侧は表示片11の一端縁よりも延長されて貼付面13Aとされ、当該貼付面13Aが紙面Pの端縁に貼り付けできるようになっている。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 見出し文字等を記入するための表示領域を備えた表示片の一方の面に強粘着層を設けるとともに、この強粘着層上にフィルム層、弱粘着層及び剥離シートを順次積層したことを特徴とするインデックスラベル。

【請求項 2】 前記フィルム層は透明な樹脂フィルムによって構成されるときに、このフィルム層の横幅は前記表示片の横幅よりも大きく設定されていることを特徴とする請求項 1 記載のインデックスラベル。

【請求項 3】 前記フィルム層は透明な樹脂フィルムによって構成されるときに、少なくとも表示片の幅方向一端縁より外側に延長する貼付面を備えて形成されていることを特徴とする請求項 1 記載のインデックスラベル。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明はインデックスラベルに係り、更に詳しくは、貼り付け作業が容易に行えとともに、貼り付け位置の変更等、貼り直し作業も難なく行うことのできるインデックスラベルに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来より、ルーズリーフ等の端縁に貼付して見出し片として利用することのできるインデックスラベルが知られている。このインデックスラベルの一般的な構成としては、例えば、図 4 ないし図 6 に示されるように、左右対称の表示領域 30 を備えた表示片 31 と、この表示片 31 の裏面側に設けられた強粘着層 32 と、当該強粘着層 32 を被覆するように貼り付けられた剥離シート 34 とを備えて構成されている。このインデックスラベルは、表示領域 30 に見出し文字等を記入した後、図 6 に示されるように、表示片 31 の中央部にて折り曲げつつ紙面 P の端縁を挟み込むことで貼付可能となっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、このようなインデックスラベルにおいては、強粘着層 32 が強い接着力を発揮するため、紙面 P に貼付した後にこれを剥がそうとすると、紙面 P をも引っ張って破断させる場合が多く、ひいては、インデックスラベルを別異の箇所に貼り直すことが困難になるという不都合がある。しかも、図 6 中斜線で示した領域である貼付面は、必然的に紙面 P 上に位置することになるため、当該領域内に文字等が記入されている場合にこれを隠してしまうこととなる。そのため、インデックスラベルを貼付すべき箇所が自由に選べなくなるという不都合も招来する。

【0004】 また、複数のインデックスラベルを紙面の一端縁に沿って貼付するという通常の状態を考えてみると、表示片の端が不揃いになって貼り付けられる場合が多く見受けられ、ファイル等における小口側の見栄えを

極めて悪くする原因となっている。これは、紙面の端縁上に貼付すべきインデックスラベルの貼付面積を、専ら人の感に依存して決めるという構成に起因する。従って、複数のインデックスラベルを貼付する時の良好なる端揃えを実現する場合には、インデックスラベルの貼付作業を慎重に行わざるを得ず、当該作業も面倒になるという不都合があった。

【0005】

【発明の目的】 本発明の目的は、特に、紙面端縁へ容易に貼付することができるとともに、貼付位置の変更も制限を受けることなく行うことができ、更に、紙面端縁上に重合する貼付面によって紙面に記入された文字等を隠すことなく利用することのできるインデックスラベルを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 前記目的を達成するため、本発明に係るインデックスラベルは、裏面側に弱粘着層を備えたフィルム層の表面に表示片が積層されてなり、前記弱粘着層を介して紙面に貼付することができる層構造を基本的に採用した。ここで、弱粘着層は、汎用タイプのラベル等に用いられる粘着層よりも粘着力が弱く、紙面等に貼付しても当該紙面の破断を生じない程度に剥離が容易となる組成物であって、付箋紙等に用いられる感圧性接着剤よりも強い接着力を有して継続的に接着力を維持可能な組成物が採用されている。

【0007】

【発明の実施の形態】 本発明は、見出し文字等を記入するための表示欄を備えた表示片の一方の面に強粘着層を設けるとともに、この強粘着層上にフィルム層、弱粘着層及び剥離シートを順次積層したものである。ここで、フィルム層は、その横幅が前記表示片の横幅よりも大きく形成される他、フィルム層の横方向一端側が表示片の一端縁より外側に延長した貼付面を備えて構成される、という構成を採ることが好ましい。この構成によれば、強粘着層の存在下で表示片がフィルム層へ強固に粘着して一体化する一方、この粘着力よりも相対的に弱い弱粘着層を積層したフィルム層の一部、すなわち前記貼付面が紙面に対して幾分弱い粘着力で貼付されることとなる。従って、貼付位置を変更する場合であっても、紙面を破ることなく貼付面を剥がして別異の箇所に再び貼り付けることができ、新たな貼付位置で一定の粘着力を維持させることができる。また、フィルム層が透明な樹脂フィルムによって構成されているため、前記貼付面と表示片との境界が外観上に見えることとなる。従って、この境界を紙面の端縁に合うよう目視しながら貼付面を紙面上に重合させることで貼り付け位置が特定でき、複数のインデックスを貼付した時の端揃えが容易に実現できる。しかも、貼付面と紙面との重合領域内に文字等の記入がなされていても、貼付面を通じて文字を見ることができる。そのため、インデックスラベルの貼付位置に制

限を受ける虞も回避されることとなる。

【0008】

【実施例】以下、本発明に係るインデックスラベルの実施例を図面を参照しながら説明する。

【0009】図1には本実施例に係るインデックスラベルの外観斜視図が示され、図2にはその断面図が示されている。これらの図において、インデックスラベル10は、表面側から裏面側に向かって表示片11、強粘着層12、フィルム層13、弱粘着層14を備え、この弱粘着層14の裏面側には当該弱粘着層14を被覆する剥離シート15が貼付されている。

【0010】前記表示片11は、中央部を折り曲げ位置として左右に対称配置されており、それらの内側領域には文字等を記入するための表示領域11Aがそれぞれ設けられている。この表示片11の裏面側に設けられた強粘着層12は、強い接着力を発揮する組成物が用いられており、これにより、表示片11は、常時は剥がれることなくフィルム13の表面に強固に一体化されている。

【0011】前記フィルム層13は透明な樹脂フィルムにより構成されている。このフィルム層13は、その横

幅寸法W1が、表示片11の横幅寸法W2よりも大きく設定されており、表示片11との積層状態で当該表示片11の右端縁より幾分延長された貼付面13Aを備えて形成されている。

【0012】前記弱粘着層14は強粘着層12よりも粘着力が弱く設けられる一方、市販の付箋紙等に採用されている感圧性粘着層よりも粘着力が強く、且つ、紙面から不用意には剥がれることがない程度の粘着力を備えた組成物が採用されている。従って、図3に示されるように、紙面Pに貼り付けた時に、当該紙面Pを破ることなく紙面Pより剥がすことができ、再び貼り付けても不用意には剥がれることがない程度の粘着力が継続的に発揮できるようになっている。

【0013】以上の構成を備えたインデックスラベル10をバインダーノート等の紙面Pに貼り付ける場合には、予め所定の文字等を表示領域11Aに記入しておき、これを剥離シート15から剥離する。そして、図3に示されるように、表示片11の中央部位置にて折り曲げながら前記貼付面13Aを紙面Pの片面における端縁に貼付する。そして、以後、同様の要領にて、インデックスラベル10の貼り付け位置をずらしながら複数のインデックスラベル10を貼付する。

【0014】ここで、インデックスラベル10の貼り付け位置を変更したい必要が生じた場合には、前記貼付面13Aを紙面Pより剥がした後、別異の位置に再度貼り直せばよい。

【0015】従って、このようなインデックスラベル10によれば、表示片11の裏面側に当該表示片11よりも横幅の大きなフィルム層13を設け、このフィルム層13の一端側を貼付面13Aとして形成したから、従来

のように、紙面Pを挟み込む態様による貼付に比べ、極めて簡易且つ迅速にインデックスラベル10を貼付できるという効果を得る。

【0016】また、本実施例におけるインデックスラベル10は、前記特性を備えた組成物で弱粘着層14を構成するとともに、この弱粘着層14を介して貼付面13Aが紙面Pに貼り付けられるものであるため、一旦接着を行った後でも紙面Pを破ることなく貼付面13Aを剥がすことができる一方、当該貼付面13Aを貼り直した後でも不用意な剥がれを生ずる虞を回避できる。従って、表示領域11Aに記載された見出し効果を安定的に維持することができる。

【0017】なお、前記実施例では、フィルム層13の片側が表示片11の一端縁より延長する場合を図示、説明したが、本発明はこれに限定されるものでなく、前記フィルム層13の両側を表示片11の両端縁より延長して貼付面13Aを左右対称配置とする構成も採用することができる。この場合、対称配置となる各貼付面13Aは、紙面Pに対して当該紙面Pを両面から挟み込むように貼り付けられることとなる。従って、このような構成とした場合には、更なる貼り付け強度を確保することができる。

【0018】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、表示片を備えたフィルム層が、弱粘着層を介して紙面へ貼り付けできるように構成されているため、ラベル貼付位置の変更が必要となった場合等に難なく対応することができる。また、フィルム層の一端側を貼付面として形成したから、当該貼付面と表示片との境界線を外側から見ることができ、この境界線を紙面の端縁に貼り付ける際の位置決め線として利用することができ、インデックスラベルを上下方向に沿って真っ直ぐに貼付し易くなるという利点も得ることができる。

【0019】しかも、フィルム層が透明であるため、貼付面が紙面上に重合しても、紙面の端縁寄りの文字等を隠す虞が全くなく、従って、インデックスラベルを貼付すべき位置に何等の制限も受けることがない。

【0020】また、インデックスラベルを全体として見た場合、フィルム層13によって表示片11が補強される構成となるため、破れや折れ等にも強いものとなり、耐久性をも付与することができる。更に、フィルム層は表示片の表面をカバーする構成ではないから、表示領域への文字等の記入に際して用いる筆記具も制限されることはない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るインデックスラベルの一実施例を示す概略斜視図。

【図2】前記インデックスラベルの層構造を示す縦断面図。

【図3】前記インデックスラベルの使用状態を示す正面

図。

【図 4】従来のインデックスラベルを示す概略斜視図。

【図 5】従来のインデックスラベルの層構造を示す断面図。

【図 6】従来のインデックスラベルの使用状態を示す正面図。

【符号の説明】

10 インデックスラベル

* 11 表示片

11A 表示領域

12 強粘着層

13 フィルム層

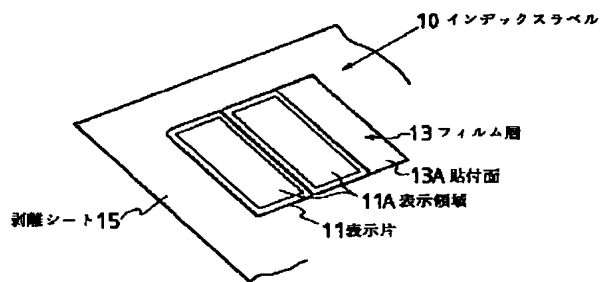
13A 貼付面

14 弱粘着層

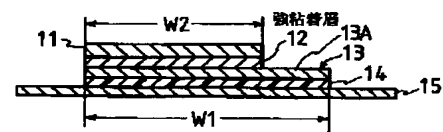
15 剥離シート

*

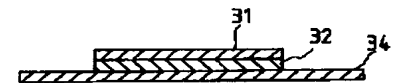
【図 1】



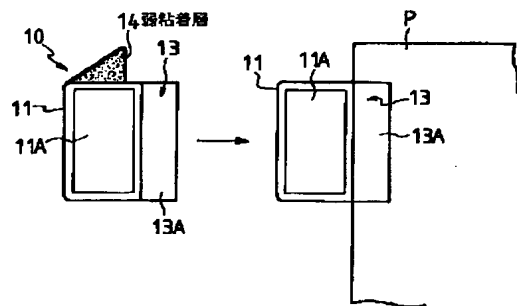
【図 2】



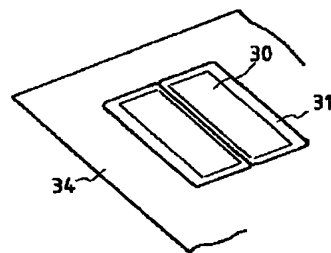
【図 5】



【図 3】



【図 4】



【図 6】

